

いざというとき

水



で困らないために

～平成28年度(第9回)国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」受賞～

マンホールトイレの整備

被災時の避難所等でのトイレ確保のため、マンホールトイレの整備を進めています。熊本市地域防災計画で避難所として位置づけられている、市内の小・中学校および防災拠点のうち、下水道区域内にある施設を対象に設置を行っています。

熊本市内の小中学校68校に

※令和4年度末時点
340基を整備



上下水道を守る対策とは

平成28年の熊本地震から7年。大きな被害を受けた上下水道施設はライフラインとしての重要性が再認識されました。

熊本市では、施設の耐震化等の防災対策、マンホールトイレの整備等の減災対策等を進めています。飲み水の備蓄や雑用水のため置き、簡易トイレなど、ご家庭でできる災害への備え、この機会にもう一度見直してみませんか。

ご家庭での備え

飲み水などの備蓄を

飲料水は、大人で1日あたり3リットルが必要とされています。3リットル×家族の人数×3日分を目安に飲み水の備蓄をおすすめします。その他にも・・・

- お風呂の残り湯も普段からため置きを。
- 防災グッズの中に折りたたみ式の水タンクなどの容器があると便利です。
- トイレの備えも重要です。段ボールの非常用トイレ等が市販されています。



～断水時に4m³の水道水を確保～

貯水機能付給水管の整備

貯水機能付給水管は、平時は通常の給水管ですが、地震等災害の断水時はタンクの容量分4m³の水道水が確保され非常用の飲料水として利用できます。

熊本市内の小中学校に

※令和4年度末時点
45基を整備



その他の災害対策

応急給水に必要な設備や資材の整備および確保、停電時に水道設備へ必要な電力を供給する非常用発電設備の整備、各種訓練の実施、災害時の応急復旧及び支援に関する協定の締結などの対策を継続的に実施しています。



応急給水塔と給水車の整備



資材の確保



非常用発電設備の整備



応急給水机上訓練



災害時の応急復旧活動に関する協定



下水道BCP訓練



水道管・配水池などの耐震化

熊本市中心市街地配水管更新工事のお知らせ

未来につなぐ水道管

地震などの災害に強く、安全で安心してご利用いただける水道を!

詳しくはこちら

令和5年度から令和11年度にかけて、熊本市中心市街地で配水管(水道管)の更新工事を行います。皆様のご理解とご協力をお願いします。

工事に関するお問い合わせ／熊本市上下水道局 水道整備課 中心市街地対策班 096-381-5278